

小林有也先生の生家跡を訪ねて

平成17年5月14日

企画：松本深志高校関西若手交流会



▲現代校長小林有也先生

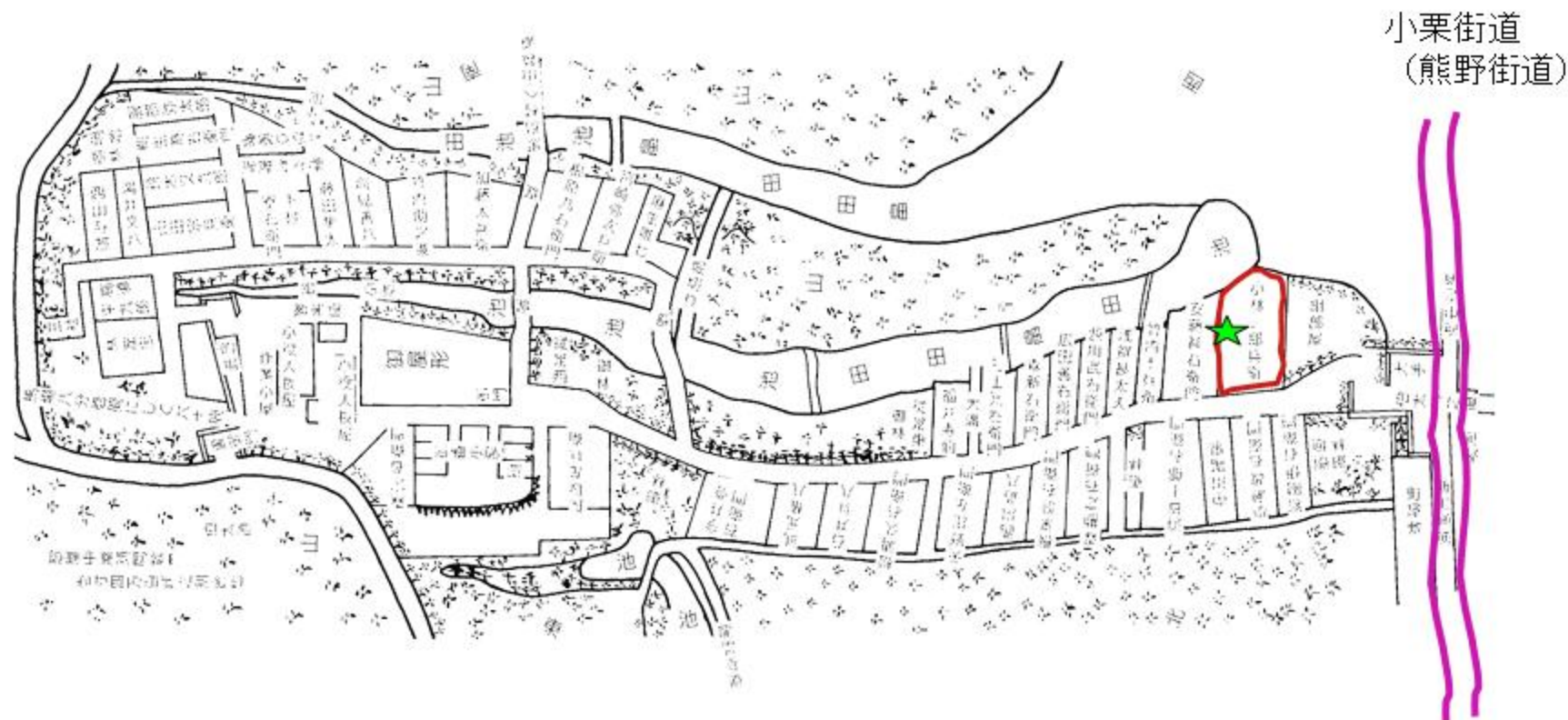
小林有也先生は、幼名を卯之助といい、列強諸外国の圧力で、幕府が米・英・露と和親条約を結んだ翌年の安政二年（一八五五）六月一日、今の大阪府、当時一万三千余石の小藩であった伯太藩の重臣の長男に生まれた。

（深志人物誌 小林有也初代校長小伝より）

・ 小林先生は河内（大阪府）の出身

・ 伯太藩重臣小林家の長男

泉州伯太藩陣屋之図絵に描かれた小林有也先生生家の位置

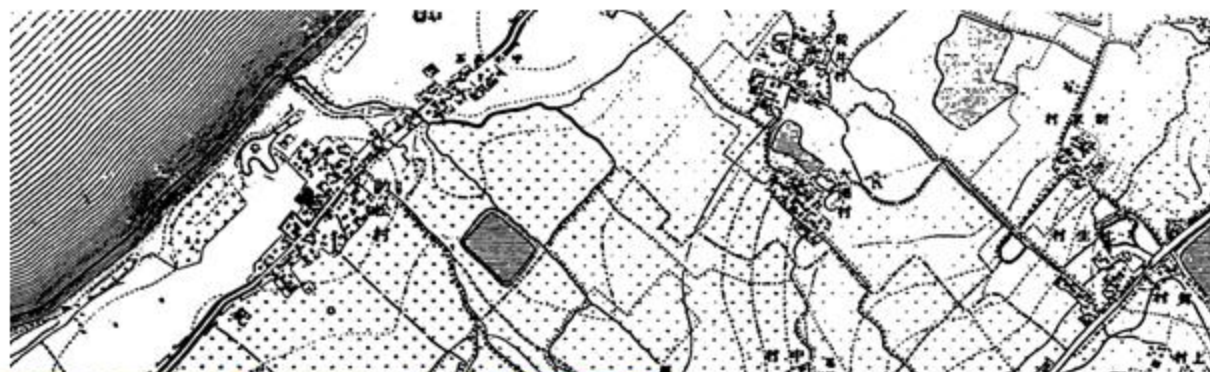


泉州伯太陣屋之図絵 読み取り図

年不詳であるが近世中期、陣屋建設の頃の様相を示す絵図と思われる。伯太藩陣屋が和泉丘陵の尾根をたくみに利用して設営されている様子がうかがえる絵図である。丘陵の裾を北東―南西に走る小栗街道(熊野街道)に直行するように大手筋を尾根線上に走らせ、その両側に家臣屋敷を配している。また大手筋が街道と交差する箇所には枡形を設けている。大手筋の突き当たりには「御屋形」と記されている御殿を設け、その周辺には「小役人小屋」「米蔵」「作業小屋」「馬場」などを置く。御屋形の前面には南の黒鳥村に抜ける道が走るが、そこからさらに尾根線を利用した道をわけ、その南側にも家臣屋敷を配置している。また小栗街道にそって「町屋」「新町通筋」などの記載があるのでこの時期には街道沿いに商店を集め町屋が形成されていた可能性がある。

古地図と現在地図の比較による小林有也先生生家の推定

現在地図



古地図

小栗街道（熊野街道）

★ 小林家

泉州伯太藩陣屋の位置（「明治19年仮製地形図」による）
深志人物誌「小林有也」（中村馨根先生著）p.7より

小林有也先生生家の推定位置



小栗街道 (熊野街道)

小林家屋敷位置
(推定)

小林有也先生の生家跡を訪ねて

平成17年5月14日午後1時、JR阪和線・信太山（しのだやま）駅に集合しました。



参加者（8名）

5期 多田 兼悟
多田様奥様

28期 宮坂 均

29期 矢ヶ崎善太郎

30期 遠藤 史

35期 井間 雅子

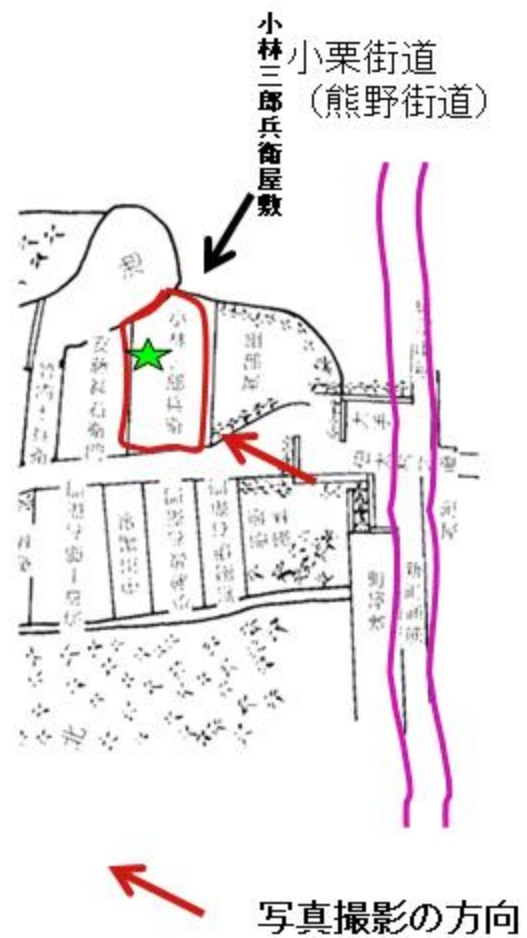
36期 富村 将之

44期 川人 よし恵

現在の小栗街道（熊野街道）の様子



小林有也先生生家跡と思われる場所にて



少し上手に和泉市のだんじり（地車）庫がありました。



写真1

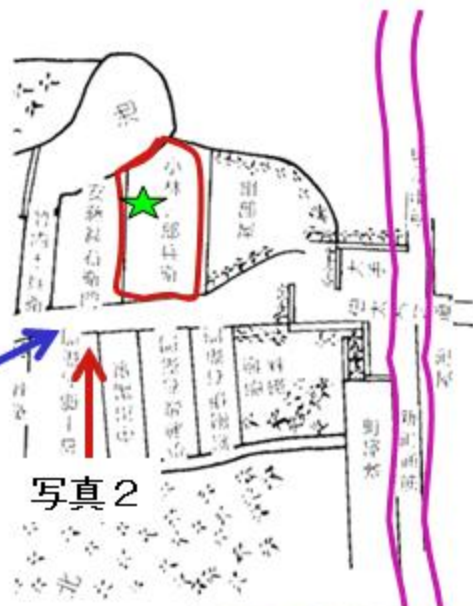


写真2



写真2 地車庫の裏手

上伯太のだんじり



伯太藩陣屋の要手門（写真後方）が移築されている堺市小谷城郷土館を見学しました。



夜、大阪市内で懇親会 (30期・奴久妻さんと49期・川窪さんが合流しました。)

